

産業

アワビ等種苗放流事業費補助金

1395万円

問 アワビ種苗の他に対象となるものは。

水産商工課 震災による資源の減少が懸念されるアワビと近年需要が伸びているナマコである。

27年度は、県栽培漁業協会でナマコ種苗の生育が不安定だったことから漁協で種苗を購入することができなかったため、ナマコについては事業を実施していない。

問 28年度のナマコの生育状況は。生育状況が不安定の場合、アワビ種苗購入に対する補助金を増額する可能性があるか。

水産商工課 県栽培漁業協会によると28年度のナマコ種苗の生育は良好とのことである。漁協では既に予約をしているようである。

ナマコの生育が不安定な場合は、アワビ種苗購入に予算を回すことも検討したい。



今シーズンのカキ食べ放題は11月3日から

かき小屋観光誘客支援事業委託料 632万円

問 事業内容と收支の状況は。

水産商工課 カキ食べ放題の時期以外の誘客を支援することが主な目的である。

委託事業の收支内容

は、人件費約520万円、人件費以外の経費が270万円、カキ食べ放題の時期以外の売上が160万円程度である。

カキ食べ放題の時期は収益を得ていると認識している。

問 27年度決算を踏まえ、町のブランドをどのようにPRしていくか。

水産商工課 現時点では緊急雇用創出事業は28年度で終了することから、その後の対応は観光協会と協議しながら進めていくこととしている。

生活安全

交通指導員報酬

117万円

問 交通指導員について、28年度は定員の人数を確保できたか。活動内容は。

町民課 現在、指導員は27年から引き続き9人である。県の基準から、本町では15〜16人必要と考える。広報に募集記事の掲載をしているが、引き続き人員の確保に努めている。

交通安全街頭啓発活動や交通安全教室などの活動している。

問 交通指導員は、子どもたちの安全を守るための活動や各種行事等での交通整理などをしてくれている。報酬は7年前の引き上げ後、据え置きと

なっている。報酬の見直しをしては。

となっている。実態を踏まえて少しでも処遇を改善し、隊員の増員を図れるよう報酬を引き上げる方向で検討を進めている。

討論

《一般会計》

賛成

佐藤 克典議員

職員の努力を評価

今後は縦横の連絡を一層密に

27年度は第8次総合発展計画の最終年度に当たり、1日でも早い復興の完遂を目指すため、多くの事業が実施された。職員の努力を評価する。本町のために業務に精励している派遣職員に感謝している。

しかし、災害復旧事業の事務執行において、年度内の事業完了が困難と

※反対討論なし